

# まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、  
楽しい情報をお寄せください。  
役場企画財政課情報係  
(☎ 611-2724)

## 大きな希望を胸に旅立ちの日 町内小学校で卒業式行われる



佐々木校長から一人ひとりに卒業証書を授与  
(不動小)

町内の小学校（徳田・煙山・不動・矢巾東）の卒業式が3月17日に行われ、4校合わせて261人の児童が、慣れ親しんだ校舎に別れを告げました。

不動小学校の卒業式では、佐々木登和子校長が35人の卒業生に卒業証書を授与し「小学校で培ったことを胸に、中学生としてより力強く歩んでください」とあいさつ。卒業生は「不動小学校で受けた多くの教えとたくさんさんの思い出を胸に歩んでいきます」と決意を述べ、元気に巣立っていきました。



体育館に響き渡った卒業生の合唱（煙山小）

生徒たちの前で華麗な舞を披露する  
能楽師の金野泰大さん



実際に能面をつけて視野の狭さなどを体験

矢巾中学校で3月2日、伝統芸能である「能」の鑑賞教室が行われ、2年生（現3年生）114人が参加しました。

教室では、盛岡市出身の宝生流能楽師金野泰大さんが、演目「羽衣」の舞を披露したほか、句の一部を生徒たちと一緒に詠い、演目に込められた意味などを説明しました。

金野さんは「能は人間の生き方についてのメッセージが込められた芸術で、ただ見るのではなく考えることが大切」と説明。「曲に込められた思いを感じ取って、今後の人生に生かしてほしい」と願っていました。

## 伝統芸能から生き方を学ぶ 矢巾中学校で能の鑑賞教室開催



## 未来への決意新たに 中学校卒業式

矢巾北中学校の卒業式が3月15日に行われ、卒業生155人が鈴木美成校長から卒業証書を手渡され、先生や友人との別れを惜しみながら、それぞれの進路に向かい旅立っていました。



## 消防団員確保への取り組みに表彰

町消防団（藤原由巳団長）が、機能別消防団員制度の創設など消防団員確保への積極的な取り組みが評価され、消防庁の消防団等地域活動表彰を受賞。3月12日に青木信之消防長長官から表彰状を授与されました。



## 岩手医大附属病院がいよいよ着工

岩手医科大学附属病院の起工式が3月13日、藤沢地内の病院建設用地で行われ大学関係者や施工業者、達増拓也知事、高橋昌造町長など約90人が出席。平成31年9月の開院に向けて、工事の安全を祈願しました。



「つながりを大切に」と題し、家族や地域で支え合うことの重要性を訴える黒田さん

矢巾町認知症セミナー（矢巾町地域包括支援センター主催）が3月5日、町公民館で開催され、約160人が参加しました。セミナーでは認知症支援の最新情報を紹介したほか、岩手日報社論説委員の黒田大介さんが、家族が統合失調症を発症した経験や、県内の地域生活支援システムを紹介。地域で支え合うことの大切さを訴えました。また、認知症支援について約150人の決意をスライドで披露。参加者は、互いに支え合うやさしい町を目指し努力することを再確認していました。

みんなで支え合うやさしい町へ  
「認知症セミナー」で決意新たに



協定書に署名をして笑顔を見せる  
徳田学長（写真左）と高橋町長

町と盛岡大学、盛岡大学短期小  
学部（両校とも徳田元学長）は  
3月6日「連携・協力に関する包  
括協定」を締結しました。  
この協定は、町と両校が子育て  
や生涯学習、健康増進支援の分野  
で連携して、課題解決に取り組む  
ものです。高橋町長は「子育てや  
健康増進の切れ目のない支援体制  
を作るため、ご指導をいただきました  
い」とあいさつ。徳田学長は「町  
と協力してさまざまな課題を解決  
し、将来に向かって連携を強化し  
ていきたい」と期待していました。

地域の課題解決を目指して  
盛岡大と包括連携協定を締結